



名張市男女共同参画

つうしん

第
134
号

2025年8月発行

号

特集「なばりのきらきらウーマン」

なす まいこ

第32回 伊賀FCくノー サテライトチーム監督 那須 麻衣子さん



名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第32回は、女子サッカーチーム・伊賀FCくノーでトップチームコーチ・サテライトチーム監督として活躍する那須さん。朗らかな笑顔と、思慮深くもきっぱりとした語り口が印象的でした。（インタビューの内容はこちらです）



人権・平和・男女共同参画

過去の大戦・紛争等により、生きとし生けるものの命が奪われ、男性の人権・女性の人権・子どもの人権が激しく侵害されました。今なお、世界で戦争や紛争が勃発・長期化する中、男性の兵役は免れず、女性や女兒への性暴力も増加、人権の状況は後退しています。

女性・平和・安全保障 (WPS) の取組

国連の研究では「女性が和平交渉に関わると、その合意が15年以上続く確率が35%高まる」というデータがあります。2000年にWPSに関する国連安保理決議第1325号が採択されて以来、WPSを推進するための取組があらゆるレベルで行われており、日本でも国際協力や外務省内に女性の参画を強めています。

参考資料：戸田真紀子論文「ジェンダーと紛争」、
webサイト「UN Women(国連女性機関)」、「外務省」、「日経クロスウーマン」

平和の構築のために

「男たるもの、国のため、女・子どもの保護のため」という考えの下、多くの男性が兵士として戦争に加担させられ、命を使い捨てられる…。「男のもの」とされた女性は戦利品のように扱われ、戦略としての性暴力にさらされる…。紛争下で起こることは、平時の境遇と決して無関係ではありません。私たちは普段から、ジェンダー観が暴力を正当化する材料とならないよう、問いつづける必要があるのではないのでしょうか。また、すべての人が経済的にも社会的にも自立し、貧困や暴力や支配を克服しようとする男女共同参画社会の実現は、人権を大切にし、平和を築き維持する力になります。

平和への願いと
男女共同参画の実現は
繋がっているんだね！

名張市男女共同参画センター

三重県名張市希中央5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内

TEL 0595-63-5336 FAX 0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/



「つうしん」
web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



開催
しました!

大人のための性教育グループトーク

—第1回—



2025年7月12日(土)の午後、当センター主催の「大人のための性教育グループトーク」を開催しました。「性教育を家庭・地域からも!学んでしゃべって、知識・意識をアップデートしよう」を目的とする、3回連続企画です。

当日は、申し込みのあった7人のうち6人が参加。グループトークでは参加した理由などを交流し、質問や感想が飛び交うなど、和気あいあいとした雰囲気の中で、あっという間に終了時間に。参加者からは、「何度も学びたい内容」「みんなの話が聞けて勉強になった」「次回が楽しみ」と好評でした。話された内容を少しご紹介します!



- 性的なネット広告や性暴力的なコンテンツに子どもたちが触れている。科学的な知識が必要。
- 性暴力事件が相次いでいるが、包括的性教育が浸透すれば変わるのでは。
- 若いころから社会制度やセーフティーネットなど知ってほしい。
- 日常でも性的な場面でもNOと言えることが大事。「断り方」「断られ方」が大人も上手ではない。
- 海外では、避妊の交渉などのロールプレイングをすることもある。
- この場に男性もいてくれたら、意見や考えを聞かせてもらえる。
- 性の話をタブーにせず、年齢に合わせた言葉で話す。
- はっきりと分かりやすく伝える。子どもが被害者になることや、ポルノ作品の内容をうのみにして加害者になることを防ぎたい。
- 「子どもが大人に抱きつく」という行為はリスクがあるため、気持ちは受け止めながら、適切な接し方を諭す。
- 子育ての中で、子どもが「いやだ」と言ったらやめる。
- 性教育の進んだ国での教え方が知りたい。

第2回(10/4)、第3回(1/17)は、具体的な教材を見たり、どう行動するかについて学び、おしゃべりするよ。

参加申し込み受付中。
お申し込みはHPから!



「つうしん」編集員さん決定!

「なばりのきらきらウーマン」を中心に
たずさわってくださいます。

はじめまして、Reiです。草花や空など気に入った景色を写真に撮って残しています。ちょっぴり人見知りだけれど、会話は大好き。名張に生まれ、名張で育ち、名張の素敵を知っています!緑深き自然や愛情厚き人々に恵まれ、「豊かだなあ!」と感じることに感謝しています。

でも、知らないこともいっぱいです。「名張のまちの素晴らしさをもっと知りたい!」「名張の人々の輝きをみなさんに伝えたい!」と願って編集の仕事に挑戦します。この「つうしん」を通しての更なる出会いに心ときめかせています。どうぞよろしくをお願いします。

〈Rei〉

読書のじかん

答えのない道徳の問題 と どう解く?

正解のない時代を生きるキミへ

やまざきひろし 文/きむらよう、にさわだいらはるひと 絵/
青木慧子 絵・デザイン/ポプラ社/2021



貸出あり

この本には、小学生や小中学校の先生へのアンケートから作った13の「答えのない問題」と、考えるヒントとして著名人を含むさまざまな人の意見が載っています。自分の考えをもち、表現すること。多様な考えがあると知ること。自分と他人の幸せを考えること……。

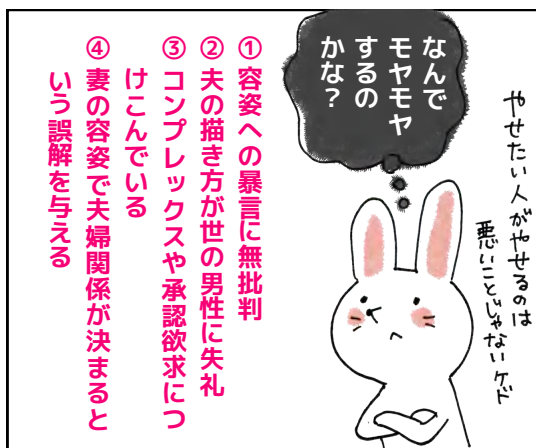
大人も学べる一冊です。家庭で、学校で、ぜひこの本を開いて話し合ってください!

モヤモヤ委員会

第10回

広告の中のジェンダー問題

街の中、テレビの中、インターネットの中…広告が至るところで目に入ります。その中には、ジェンダーの思い込みを強化するようなメッセージが(言葉だけでなく色や形、写真やイラストにも)ひそんでいたりします。なんとなく受け入れていると、広告の隠れたメッセージが刷り込まれる心配もあります。



日本の15歳〜24歳の若者への調査では、広告に不快感を抱いたことが「ある」人が約42%で、「ない」人約38%を上回っており、容姿やジェンダー役割の押し付けなどが理由に上がっています(国際NGOインターナショナル・ブランド調査)。違和感に気づくことって、大切! あなたの「モヤる」広告、どんなのですか?

つうしん134号アンケート



- 参考になった記事をお答えください(複数回答可)
 - ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」
 - ⑤ 平和と男女共同参画
 - ⑥ 開催しました! 性教育グループトーク
 - ⑦ モヤモヤ委員会第10回
 - ⑧ 相談日程
 - ⑨ 参考になった記事はなかった
- 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか?(複数回答可)
 - ④ 名張市の男女共同参画
 - ⑤ 世界の男女共同参画
 - ⑥ その他 ()
- 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- 134号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、「〇号アンケート」と明記の上、下記の宛先へお送りください。(送料等をご負担ください)

WEBで回答



メールで回答



WEB <https://forms.gle/r3ngeWbCcWLwfqFo8>
 メール danjo-center@emachi-nabari.jp
 郵 送 〒518-0775 名張市希央台5-19
 名張市男女共同参画センター宛
 FAX 0595-63-5326

応募締切:10/10(金) (必着)

※ご記入いただいた個人情報は図書カード発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

「当事者でなければわからない」という主張は、真実であり、一方でそれで終わってはいけないと感じます。いろいろなことには「当事者」と呼ばれる人々がいて、それに当てはまらない人のほうが多いかもしれません。例えば被爆者、例えば性被害者、例えば性的マイノリティー。「当事者にしかわからないこと」を、どうにかして伝えてくれる人々に最大の敬意をもちながら、想像力を働かせたい。世界で起きていることは、同時代に生きる私につながっているとすれば、私にも当事者性があり、私の小さな行動にも意味がある。と考える今日この頃です。



相 談 日 程

名張市男女共同参画センター

9月
2025

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00		女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	
7	8	9	10	11	12	13
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
14	15	16	17	18	19	20
	休館日	メンタルヘルス相談 10:00~12:00 人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	★	女性のための相談 13:00~16:00	
21	22	23	24	25	26	27
	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
28	29	30	●予約電話 63-5336			
	休館日					

★毎月第3木曜日のメンタルヘルス相談は、都合により16日(火)に変更します。

10月
2025

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			女性のための相談 9:00~12:00		女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	
5	6	7	8	9	10	11
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
12	13	14	15	16	17	18
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00	女性のための相談 13:00~16:00	
19	20	21	22	23	24	25
	休館日	人権相談 10:00~15:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
26	27	28	29	30	31	
	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00~12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00~16:00 お休みです



女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00~14:00



男性のための相談

予約優先

電話相談のみ

毎月第2木曜日 17:00~19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

要予約

面談

毎月第3木曜日 10:00~12:00
毎月第4火曜日 13:00~16:00



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special interview 32

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

な す ま い こ 那須 麻衣子 さん

伊賀FCくノ一三重
トップチームアシスタントコーチ・
サテライトチーム監督

profile

5歳から名張在住。2009年～11年には、
サッカー日本女子代表（なでしこジャパ
ン）として活躍。18年間の選手生活を経て、
2017年から指導者の道へ。



現在のお仕事について教えてください。

伊賀FCくノ一三重でトップチームのアシスタントコーチとして5年目。トレーニングのサポートはもちろんですが、監督の指導の意図を選手たちに伝えるとともに、選手の気持ちを汲みとり両者を繋げるよう、日々のコミュニケーションを大切にしています。また、選手の仕事とサッカーの両立も応援しています。

中高生対象のサテライトチームの監督は、3年目。多感な時期の選手の心に寄り添いながら、サッカーの技術・戦術の向上とともに、チームプレーを通して仲間の大切さを知り人間力を高めること、そして、なんの変哲もないように感じる日常の繰り返しは実はとてつもなく大きな成果につながっているということを大切に導く努力をしています。

どうして、サッカーをずっと続けられたのでしょうか。

サッカーとの出会いは、小2の頃。兄のサッカーの練習について行った時に、「楽しそう！自分もやってみよう」と心が動き、名小サッカースポーツ少年団に入りました。それからは、ひたすらボールを蹴る日々。楽しく、集中できる好きなものを見つけることができました。「サッカーは男の子がやるスポーツ」というような風潮もありましたが、性別を超えて等しく練習できる環境があり、全力で向き合えました。

中学生で、プリマハムFCくノ一（伊賀FCくノ一の前身）のサテライトチームに加入。近くにチームがあったこと、親に送迎してもらえたことなど、女子選手やチームが少ない中でしたが、環境や協力のおかげで続けてこれたと感謝しています。

選手として活躍された中で、 感じているのはどんなことですか。

小学生の頃からめざしていた、サッカー日本女子代表となって世界の舞台に出るという夢は叶いました。チーム「なでしこジャパン」として国を背負うという特別な感情も味わえ、応援し続けてくれた家族はじめ周囲の方々と喜びを共有することもできました。出場選手枠もあり、悔しい思いもしましたが、サッカーが好きでうまくなりたいと毎日必死で練習を続け、夢に向かって歩いていくことで、豊かな人生につながったことが私の誇りです。これまでいろいろな面で関わってくださったすべての方々のおかげです。

スポーツとは真剣に競争すること。勝ち負けの結果から、悔しい思いは多々あります。負けるのは、相手との差。悔しければ次に勝つこと、新たな目標に向けて本気になることです。そんな自分の経験を指導に活かしていきたいです。

女子サッカー指導者として、 何を大切にしていますか。

何かに夢中になることは素晴らしいことです。好きの度合いは違っても、悔しいこと・しんどいこと・楽しいこと・喜びなどを一緒に味わいながら、サッカーを通して人間的に成長してほしいです。もちろん、サッカーの技術や戦術の指導が重要で、試合に勝つことや選手の育成をめざしていますが、何よりサッカーが好きであり続けてほしいです。先輩の監督・コーチの指導から学ぶことも多く、それらを活かしながら、自分らしい指導をしていきたいです。

今も残念ながら、女子チームが少ない、家族の協力が難しい等で条件がそろわず、サッカーを諦める人たちもいます。チームで送迎できるような工夫をしながら、一人でも多く、サッカーをやりたい子が続けられるよう取り組んでいるところです。

また、フィールドで動けることは、日常生活でも



自分で考えて行動する力に繋がっています。教わったことの応用や、どの引き出しを開けるのか。そういった判断力を磨き、行動力を培うなど、サッカーが育む子どもの未来を大切にして指導に当たっています。

これからも、選手たちの素晴らしい点を伸ばし、安心して活動できる環境づくりに努めていきたいです。

今後の目標や、若いみなさんへの メッセージをお願いします。

この先も大好きなサッカーに携わり続けたいし、伊賀FCくノ一のチーム力を上げていくことが目標です。また、昨年度から出身校でもある百合が丘小学校で体育の講師もさせていただいているのですが、子どもたちや若い人には、自分のやりたいことや好きなことを見つけてほしいです。そして、夢をもって日々を過ごすために、まずは何でもチャレンジしてみることが大切です。望む未来のためには何が必要か、自分で考え進めていってほしいと思っています。



休日もサッカーで
頭がいっぱい！
ケーキよりも
周りの生クリームが
大好き☆

* 見つけた「彼女らしさ」 *

グリーン芝の上をさっそうとドリブルで進んでくる那須さん。日焼けした肌が、太陽を浴びて一段と輝いて見えました。凛々しく大胆でありながら、細やかな配慮ができる若き選手の憧れの存在です。サッカー愛をエネルギーに語る、歯切れのある声。その情熱に那須さん「らしさ」を見つけました。